



2016・12・1

第 257 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

南スーダン PKO から自衛隊を撤退させよ

「一言メッセージ」つぎつぎ

九条の会事務局は、九条の会が 11 月 10 日に発表した声明「南スーダン PKO への自衛隊派兵に反対します」を広く知識人・文化人にお送りするとともに、みなさんからの「一言メッセージ」をよびかけています。

このよびかけに応え、これまで木下そんき、葵生川玲、無着成恭、石田雄のみなさんら 50 人を超える方々から、9 条を守り抜く決意を込めたメッセージが寄せられています。九条の事務局では、それらを近くホームページでご紹介することにしていきます。なお、同時によびかけられた九条の会への賛同カンパも 11 月末までに 100 万円を突破しました。

南スーダン派兵抗議「19 行動」

【宮城県・みやぎ憲法九条の会等】 宮城県では、自衛隊への駆け付け警護」付与の閣議決定に抗議する 19 日行動が、仙台市での集会・デモや宣伝、石巻市でのスタンディングなど県内各地で取り組まれました。

仙台市での集会には 200 人の市民が参加しました。主催者を代表してみやぎ憲法九条の会の板垣乙未生氏は、憲法 9 条 2 項が

九条の会第 6 回全国交流集会の 成果をこれからの運動に =< 報告集 >=

◇主な内容 呼びかけ人あいさつ(澤地久枝)/問題提起(小森陽一)/世話人あいさつ・メッセージ(池内了、池田香代子、伊藤千尋、伊藤真、清水雅彦、山内敏弘、浅倉むつ子、高良鉄美)/分散会の報告(第 1~第 7 分散会)/資料 アンケートから見た九条の会の課題、他

◇B5 判 76 頁 1 冊 800 円(〒82)

但し、5 部以上〒無料

10 部以上 1 割引

=< DVD >=

◇主な内容 呼びかけ人あいさつ/事務局長報告/世話人あいさつ・紹介

◇取り扱い 1 本 1500 円(〒160)

国の交戦権を認めず、「駆け付け警護」は断じて許されないと強調。「大きな声を上げていきましょう」と呼びかけました。

オールみやぎの会、ママの会、女性議員・元議員有志の会、教職員組合が、「最後まで自衛隊は南スーダンから撤退をと叫び続け

る」と決意表明。集会後、一番町商店街を「憲法違反の安保法制廃止」「自衛隊員の命を守ろう」と訴え、デモ行進しました。

日本会議と結んだ改憲策動を批判

【兵庫県西宮市・「九条の会」西宮ネットワーク】 「九条の会」西宮ネットワークは11月19日、市内で憲法を学ぶつどいを開きました。

子どもと教科書全国ネット21の依義文事務局長が「安倍政権と日本会議―自民党改憲案から見えてくるもの」と題して講演、日本会議と国会議員、地方議員が連携し、大規模集会や署名など地域から改憲運動を進めていること、元号法、国旗国歌法を制定し、夫婦別姓を阻止したことを紹介。憲法への自衛隊明記や緊急事態条項とともに、道徳の教科化や、改悪された教育基本法に基づく新しい学習指導要領など「教育改革」の動きを示し、これらの策動を許さない世論づくりを呼びかけました。

140人が参加し、中学校だけ男女別名簿になっていることが紹介されジェンダー教育攻撃との関係や天皇の生前退位などの質問に依氏が見解をのべました。

市内の9条の会が紹介され、今年5月に設立した西宮市北部9条の会の山口允舜事務局長が「講演を力に、憲法9条を守り生かす活動を広げたい」と決意を表明。

講演会后、「19行動」として市内をパレードしました。

「軍事によらない国際貢献」強調

【福岡県・九条の会福岡県連絡会】 福岡県連絡会は19日、福岡市の天神で宣伝し

ました。市内の地域や民放九条の会の会員13人がリレートークし、声をあげました。

県連絡会事務局長の村井正昭弁護士は「憲法で軍隊を禁止する日本だからこそ世界の人たちから信頼される。軍事によらない国際貢献を実践しなければならない」と訴えました。

ビラを見ていた大学生の内田陸さん(18)は「日本は武力ではなく、世界に貢献してほしい」と語りました。

元自衛隊員も「人間は撃てない」

【札幌市西区・琴似、山の手9条の会】

「琴似9条の会」と「山の手9条の会」は11月17日、地下鉄琴似駅前で、「憲法改悪に反対し9条を守ることを求める」宣伝署名行動にとりくみました。会員9人が手作りの横断幕やプラカードをかかげ、ビラを配布し、買い物客や通行人に署名の協力を呼びかけました。

マイクを握った会員は、閣議決定で戦争法の具体化となる「駆け付け警護」などの任務が付与されたことを批判。「日本が71年間、戦争に参加しなかったのは戦争を放棄した憲法9条があったからです」と署名への協力を訴えました。

「戦争は絶対してはいけません。何もかもが破壊されます」と怒る女性や「憲法を守らないと、戦争に突き進むのではと心配です」と話す男性らが署名。真駒内と倶知安の自衛隊駐屯地に4年いたという男性(54)は「国を守ると入隊したが、訓練しても平常心で人間なんて撃てない。定年前に辞めてよかったと思っている」と話しサインしました。

憲法公布 70 年を記念して行動

【富山県・9 条の会富山県連絡会】

11 月 3 日、憲法公布 70 周年の日、9 条の会富山県連絡会は、午前は街頭宣伝、午後は大学人 9 条の会(富山)主催の「2016 憲法講演会」を、日本国憲法をまもる富山の会と共催しました。

〈街頭宣伝行動〉 雨模様の肌寒い天候にもかかわらず 12 名が参加、午前 10 時から 1 時間、富山市西町の大和前総曲輪通りで宣伝行動を行いました。ハンドマイクで、南スーダンへの自衛隊派兵反対や自民党改憲草案反対などを訴え、道行く人々に、「自民党改憲草案」の内容を解説・批判したビラを配りました。

〈2016 憲法講演会〉 午後 1 時半から 3 時半まで、JR 富山駅前の明治安田生命ホールで、[改憲の危機にどう立ち向かうか]の演題で、上智大学教授・中野晃一さんが、歯に衣着せず、切れ味鋭く、示唆に富んだ改憲阻止のたたかいの方向について、力をこめて語りかけました。約 100 人が熱心に聴き入りました。(「憲法 9 条ファンクラブニューズレター」第 150 号)

結成 10 周年を記念してツアー

【和歌山県・障害者・患者九条の会】

結成 10 周年を記念して橋本・九度山ツアーを実施しました。和歌山駅から県福祉バスを利用して、参加は 28 名。橋本から橋本九条の会会員 6 名が合流。

橋本九条の会の古倉さんの案内で、県指定史跡「戸谷新右衛門の墓」に参拝し、顕彰碑を見学、江戸時代の民衆の運動に学び

ました。紀ノ川を臨む老舗「堺屋」で昼食。そこで橋本九条の会のみなさんと交流を深めました。

午後は参加者に視覚障害の人が多かったため、住職に慈尊院にまつわる法話をしていただきました。そのあと、道の駅で地元の果物などを買い求め帰路につきました。初参加の方も数名おられ、今後もこうした企画は大切だと思いました。(事務局・野尻誠さん[九条の会・わかやま]307号より)

結成後 11 年の活動の重みを実感

【群馬県前橋市・大利根 9 条の会】

大利根 9 条の会の結成 11 周年の集いが 10 月 16 日、大利根公民館で開かれました。

「ピースサイン」「若者たち」をみんなで歌って開会。事務局長の堀泰雄さんが「大利根 9 条の会の 11 年間」を報告しました。

記念講演は吉村駿一弁護士の「南スーダン派兵でどうなるか」。

新 9 条グッズとしてパン屋さんの協力で実現した「平和ラスク」、ベトナムのエスぺラント協会から寄贈された民芸品の「釣り合いトンボ」50 個、韓国食品など、盛りだくさんのグッズも好評でした。

最後に、再びみんなで歌を歌って、平和への願いを確かめ合いました。

大利根 9 条の会はこの 11 年間に、例会は 64 回(平均すると 2 か月に 1 回)、ニュースを 168 号発行(1000~2000 部)、街中へのポスターの張り出し 130 軒に 300 枚ほど、また海外への「九条の思想の普及」など、他に例がない活動をしています。会費なしで、グッズ販売とカンパで運営しています。(「前橋・大利根地区九条の会ニュース」

No170)

緊急事態条項の歴史的教訓学ぶ

【千葉県・東金地域九条の会】 「東金地域・九条の会」は11月27日、山武市成東文化会館で第7回総会と講演会を開き、宣伝活動や平和の集いの開催、日常的な学習活動の強化一などの方針を決めました。

総会に先立ち、鈴木守弁護士が「安倍内閣と憲法」と題して講演。「安倍内閣は憲法9条の解釈を百八十度変えてまでも戦争法を強行したが、集団的自衛権を全面的に展開するには特に憲法9条2項の規定が制約になる」と指摘。現行憲法と対比した自民党改憲草案の危険な内容を解説し、「特に緊急事態条項は、行政府に全面的な権限を付与してしまう。戦前にドイツヒットラーが全権委任法でワイマール憲法を廃止し、第2次世界大戦に進んだ」と強調しました。

選挙権の重みを確認しあう

【大阪・おおさか女性9条の会】 おおさか女性9条の会は11月12日、大阪市北区で「女性たちがつなぐ くらし・政治・憲法 女性参政権70周年に」をテーマにつどいを開き、60人が参加しました。

大阪YWCA会員の雀部真理さんが、兵庫県豊岡市で環境への負荷を最小限にと暮らす日々の営みを紹介。「9条の会」から「いのちと平和の会」に変え、市民が関心を寄せる活動に努めていると語りました。

3人が発言。女性参政権初の選挙を経験した上田美智子さん(91)は、兄の戦死や当時の家父長制社会の状況を述べ、「国が変わればと投票した」と述懐。「辛酸をなめて

実現した1票」を棄権せず、戦争しない国をつくってほしいと話しました。

子どもの未来を考えるママの会@大阪(安保関連法に反対するママの会@大阪を改称)の寺井恵衣さんは、自分自身が楽しむ普通の人たちに政治を身近に感じてもらえるよう活動していると報告。

18歳選挙権施行で7月の参院選で投票した中尾奈々子さん(19)＝追手門大学1年＝は、友人が政治は遠いと感じているとし、「若い人が投票すればそれを換えられると思う。友人に白紙でもいいから投票してと話している」と語りました。

9条の意義確認しあう「まつり」

【和歌山県紀の川市・九条を守ろう那珂郡の会】 「九条を守ろう那珂郡の会」は11月20日、「那賀9条まつりー好きなんだよ9条!」を紀の川市で開きました。

同会よびかけ人の増田博さんは開会あいさつで同日、「殺し殺される」危険がある「駆け付け警護」の任務をおびた自衛隊員らが南スーダンにむけ出発したことを批判。武器を使えと自衛隊員に命じに稲田朋美防衛相が核武装論者であり、「子ども手当を軍費にそっくり回せ」と主張しに人物であることや、鶴保庸介沖縄・北方相が沖縄ヘリパッド建設に反対する人々を「土人」「シナ人」と暴言した機動隊員を擁護したことを示し、「世論を高める必要がある。黙ってはダメだ。家の外に出て声をあげよう」とよびかけました。

まつりでは、バンド演奏やリレートーク、フラダンスなどさまざまな催しが行われ、模擬店は家族連れでにぎわいました。